

## 第四十五回立川市中学生の主張大会 開催経過

## 一 趣 旨

市内の中学生が日常生活を通じて考えていること、体験などを自由に発表することにより、自立心、創造性、社会性を育てる機会とするともに、広く一般市民が中学生の意識や行動に対する理解を深め、青少年健全育成の充実に資することを目的とする

## 二 発表者及び発表方法

発表者は国・公・私立を問わず市内在住の中学生のうち主催者が原稿審査のうえ選出した15名とし、応募した原稿を5分以内で発表する

## 三 主 題

・社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など  
 ・家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど  
 ・テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見、提言など

## 四 発表者の応募

一般公募及び青少年健全育成地区委員会を通じて応募を依頼したところ、3165編の応募があった

## 五 審 査

## (一) 審査員

大会当日、個人審査員7名の他、団体審査員、中学生審査員及び中学校PTA審査員にて審査を行った

## 1 個人審査員 7名

玉城 真由美 立川市青少年問題協議会  
 小野 克城 立川市立中学校PTA連合会  
 浅田 裕 国立音楽大学  
 梅田 茂之 立川市自治会連合会  
 青木 眞優美 立川市子ども会連合会  
 難波 敦子 立川市生涯学習推進審議会  
 石井 和成 立川市教育委員会

## 2 団体審査員19団体126名

立川市青少年健全育成地区委員会（2名×12地区＝24名）  
 立川市子ども会連合会（本部・地区連計14名）  
 立川市民生委員・児童委員協議会（3名×6地区＝18名）  
 北多摩西地区保護司会立川分区分（1名×4ブロック＝4名）  
 立川市立小学校PTA連合会（1名×14校＝14名）  
 立川市立中学校PTA連合会（3名×9校＝27名）  
 立川市生涯学習推進審議会（2名）  
 立川市青少年補導連絡会（3名）  
 立川・サンバーナディノ姉妹市委員会（2名）  
 夢育て・たちかわ子ども21プラン推進会議（2名）  
 東京立川ロータリークラブ（1名）  
 東京立川ライオンズクラブ（1名）  
 東京立川こぶしロータリークラブ（1名）  
 立川青年会議所（1名）  
 国際ソロプチミスト立川（3名）  
 ボーイ・ガールスカウト育成会（1名）

立川市スポーツ推進委員協議会（2名）

人権擁護委員（2名）

「立川の青少年」編集委員（4名）

3 中学生審査員 24名

ジュニア・リーダーズクラブ（2名×12地区＝24名）

4 中学校PTA審査員 8名

立川市立中学校PTA会長

(二) 審査の基準

1 内容

ア 主題と内容が一致しているか

イ 自らの意見・希望など、主張がはっきりしているか

ウ 主張の内容が新鮮で、創造性に富んでいるか

エ 共感と感動を与えているか

2 話し方・態度

ア 話しぶりに熱意や迫力など、主張らしさが感じられるか

イ 聴衆をよく見て、落ち着いて話しているか

ウ 自信をもって、自分の言葉で話しているか

(三) 審査会の開催状況

○一次審査（原稿回収後～9月16日）

市内12地区にある青少年健全育成地区委員会が、各中学校より応募原稿を回収し、各地区10編（全体で120編）を選考した

○二次審査【個人審査会】（10月9日）

青少年健全育成地区委員会により絞り込まれた120編の原稿を個人審査員に事前（9月18日～10月6日）に読んでいただいたうえで慎重に審査し、中学生の主張大会当日の発表作品15編及び優秀賞受賞作品20編をそれぞれ決定した

○大会当日審査（11月3日）

中学生の主張大会会場において、発表を聞き、各審査員等の審査結果を十分考慮し、市長賞1名、議長賞・教育長賞各2名、特別賞（中学生審査員賞）1名、特別賞（中学校PTA会長賞）1名、青少年問題協議会会長賞8名を決定した

六 その他

耳の不自由な方のために手話通訳を行った